

海・みなの・蒲郡マラソン初開催

1100人海岸沿いを駆け抜ける

最年長出場者の青柳さんも軽やかに

市民ランナーが海岸沿いを走る「海・みなの・蒲郡マラソン」が21日、蒲郡市で初めて開かれた。曇り空で風のない好条件の下、約1100人のランナーが三河湾を望むコースを駆け抜けた。



海岸沿いを走るランナーたち(蒲郡市三谷町で)

海陽町のテーマパーク「ラグナシア」を発着点とするハイフ(10・5キロ)の2部門。ランナーたちは地元住民らのエールを受けながら、星越海岸沿いを走った。



軽やかに走る最年長出場者の青柳さん(同)

ハイフ・女子で優勝した大府市のパー小田恵梨さん(38)は「きれいな景色を横目に、気持ちよく走ることができた」と笑顔だった。

クオーター部門に出場。ほかでは味わえない達成感がある。速さにこだわらず楽しみたいと話した。46歳でランニングを始めたという、昨年は同県島田市のフルマラソンにも出場した。80歳まではフルマラソンに出続けたい」と意気込んでいた。

「海・みなの・蒲郡実行委員会」(小田泰久実行委員長)が主催した。新型コロナウイルスの影響で大会が軒並み中止になる中、小田委員長は「ランナーの思いを形にできた。ここは環境も整っている。健康をキーワードに街を活性化できれば」と期待を込めた。来年以降も継続して開催する計画だという。

「一まいの卒業証書」演じる

蒲郡東部小の6年生 地元出身、金沢氏著書の実話劇



6年生が真剣に演じた「一まいの卒業証書」＝蒲郡東部小で

蒲郡市立蒲郡東部小学校の6年生55人が20日、同市出身の教育者、金沢喜市氏(1908～86年)の著書「一まいの卒業証書」を劇にして発表した。金沢氏は同市平田町で生まれた。蒲郡町立東部小から東京・青山師範学校の2部に進み、都内の小学校教員となった。41

年間、勉学を教えた後、児童教育研究者として教育関連図書執筆し、評論家として活躍した。東部小では6年生が平和と命の大切さを学ぶために劇を発表している。今回、金沢氏の実話を元に作られた話を演じ、戦争の悲劇と平和を考えた。終戦直後の東京が舞台。戦災孤児となった山本少年だが、果物屋に引き取られ、小学校生活を始めていた。ところがある日、姿を消してしまふ。担任の金沢氏が同級生と一緒に探すが見つからなかった。皆で一緒に卒業したい」と願いながら山本少年を探し続ける」というストーリー。

新しいコロナウイルスの影響で6年生の保護者のみが参加し、1～5年生は教室からオンラインで鑑賞した。6年生は真剣な表情で山本少年が戦争で両親を亡くし、一人で生きていく中で親戚の人や金沢氏との出会いなどを演じた。劇に参加した倉橋星圭さんは「大変楽しかった」と話した。【林大二郎】

蒲郡信金小坂井支店が国際ロマンス詐欺防ぐ

豊川署が感謝状を贈る

豊川署は19日、詐欺の80代男性が来店し、被害を未然に防いだとドル口座の開設を依頼して、蒲郡信用金庫小坂井支店(豊川市伊奈彦支店長が理由を聞く町)に感謝状を贈った。SNSで知り合った海外在住の日本人女性に「国際ロマンス詐欺」とみられる。財産が620万あり、4割を私に送金したいと訴えられた。防いでくれたことに感謝する。【竹下貴信】



感謝状を持つ小坂井支店長(左)と近藤署長(右)。豊川署で

おやこでヨットをつくらう!

27日と28日 海辺のハンドメイド・マーケットに展

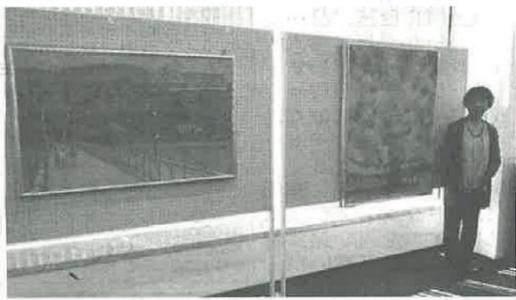
蒲郡市

蒲郡市は27、28両日に市内海陽町のラグーナテンボスで開かれる「海辺のハンドメイド・マーケット」に出展する。「おやこでヨットをつくらう」と題した体験イベント。紙やペットボトルのふたを使ってヨットを作り、競争する。7月に市役所でイ

東三河の名所描いた作品展

蒲郡信金三谷支店で斉藤さん

蒲郡信用金庫三谷支店 来店客の目を楽ませている。【蒲郡市三谷町】で、斉藤幸子さん(同市豊岡町)の「日本画作品展」が開かれている。12月30日まで。斉藤さんは岡崎市の絵画教室「環美会」に所属している。地元の「竹島」をはじめ、豊川市豊津町の「大和の大きいちよう」を描いた50号の迫力ある大きな作品を出品し、



作品と斉藤さん＝蒲郡信用金庫三谷支店で(提供)